

ヒト由来試料・情報を用いる研究に関する生命倫理検討委員会の設置(報告)
1月23日の第7回幹事会において、課題別委員会として「ヒト由来試料・
情報を用いる研究に関する生命倫理検討委員会」の設置が提案され、承認され
ました。

委員会の詳細については、以下のホームページを御覧ください。

(<http://www.scj.go.jp/ja/info/iinkai/index.html>)

【問い合わせ先】日本学術会議事務局参事官(審議第二担当)付

(Tel:03-3403-1056、s254@scj.go.jp)

IAC 理事会(報告)

会議名称: IAC 理事会

会 期: 2月1日(水)~2日(木)

場 所: 王立オランダ科学アカデミー "Royal Netherlands Academy of
Arts and Sciences (KNAW)" (アムステルダム)

2月1日から2日の2日間にわたって、アムステルダムの王立オランダ科学
アカデミーで、インターアカデミーカウンスル(IAC)の理事会(Board Meeting)
が開かれ、日本学術会議からは、黒川清会長と西ヶ廣事務局長が参加しました。

理事会では、「連携組織との関係のあり方」、「財政基盤」、「IACの今後の活動
のあり方」の3つの分科会に分かれて議論が行われ、黒川会長は「連携組織と
の関係のあり方」の議長を務め、その意見をまとめました。また、規約の改定、
財務報告が行われ、作成中のIAC報告"Women for Science"についての報告と
意見交換、能力育成指標についての意見交換、ナノテクノロジーについての
英国ロイヤルソサイエティーからの日本学術会議との合同ワークショップを含
む報告と意見交換があり、アフリカ学術会議との合同セッション、日本から
山地憲治会員(第3部)が参加しているエネルギー政策パネルとの合同セッ
ションが開かれるなど、活発な議論が行われました。

IACについては、以下のホームページを御覧ください。

(<http://www.interacademycouncil.net/>)

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局参事官室(国際業務担当)国際調査担当

(03-3403-1949、i266@scj.go.jp)

アジア学術会議準備会合

去る1月24日、本年4月にインドでの開催を予定している第6回アジア学術会議を前に、準備会合が日本学術会議内で開催されました。

参加者は、次回主催者であるインド社会科学研究会議(ICSSR)の事務局長 Vinod Kumar Mehta 氏他、前回第5回主催者であるベトナム科学技省(MOST)の国際協力局長 Thach Can 氏他、また、インドでの会議で発表を予定している諸外国からの研究者など13名と、同じく発表予定の日本人研究者、黒川会長以下国際委員会アジア学術会議分科会メンバーなど13名の総勢26名で、ベトナム大会の報告、また、インドでの会議に係る最終案の検討や発表を予定している研究の紹介などを行いました。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局参事官室(国際業務担当)国際交流担当
(Tel:03-3403-1949、i253@scj.go.jp)

南アフリカ共和国大使及び科学技術参事官来訪(報告)

1月18日、南アフリカ共和国大使 Dr. Ben Ngubane 及び科学技術参事官 Mr. Vuyani Lingela が黒川清会長を表敬及び南アフリカ共和国科学技省及び大使館主催エッセイ・スピーチコンテストに対する後援依頼のため訪問しました。

意見交換では、大使より、アフリカが直面する課題、開発とODAにおける科学技術について発言があり、黒川会長よりODAにおける持続可能性の維持の重要性やIACの報告、国連MDGの実現に向けての国際学術団体の声明、G8サミットへ向けての各国学術会議の共同声明などについて、また、ここ5年にわたって日本学術会議がアフリカ問題について積極的に関与している旨発言がありました。

また、南アフリカ側から、本年6月16日に予定しているスピーチコンテストへの日本学術会議の後援依頼と募集開始日の2月22日に行われる公表イベントへの会長の出席及びスピーチの依頼がありました。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局参事官(国際業務担当)付参事官補佐
(Tel:03-3403-5731、i252@scj.go.jp)

委員会委員の承認(報告)

1月23日の第7回幹事会において、次の委員会の委員について、各部から推薦された候補者が承認されました。

1. 機能別委員会

(1) 科学者委員会男女共同参画分科会

- (2) " 学術体制分科会
- (3) 国際委員会日英学術交流分科会
- (4) " G8 学術会議分科会
- (5) " ICSU 等分科会
- (6) " AASSREC 等分科会

2. 課題別委員会

- (1) 科学者の行動規範に関する検討委員会 (追加分)
- (2) 学術とジェンダー委員会 (追加分)
- (3) 学術・芸術資料保全体制検討委員会

最新の委員一覧については、以下のホームページを御覧ください。

(<http://www.scj.go.jp/ja/info/iinkai/index.html>)

九州・沖縄地区会議学術講演会の開催 (報告)

期 日 : 1月16日 (月)

場 所 : 熊本大学工学部百周年記念館 (熊本市)

標記講演会は、日本学術会議九州・沖縄地区会議の主催により、「21世紀の先端科学 - 熊本からの発信 - 」をテーマに開催されました。講演会では、九州・沖縄地区会議代表幹事の今西裕一郎会員の開会挨拶、浅島誠副会長による「最近の日本の学術の動向について」と題する特別講演のほか、九州・沖縄地区会議委員の木下尚子会員による「人文科学と自然科学の共業 - 考古学の現場から」など、熊本大学の3名の先生方による講演が行われました。

同講演会には、一般市民、熊本大学の学生など約150名の参加者が集い、活発な質疑応答や意見交換が行われ、盛会裏に終わりました。

【問い合わせ先】日本学術会議事務局企画課情報係

(Tel:03-3403-1906、p228@scj.go.jp)

会員ホームページとのリンク募集 (案内)

日本学術会議会員のホームページと日本学術会議のホームページとのリンクを募集中です。

日本学術会議のホームページ (第20期会員一覧) の会員氏名をクリックすると、リンク先に移動するよう設定します。現在、8名の会員のホームページとリンクされています。

(会員一覧 : <http://www.scj.go.jp/ja/info/member/index.html>)

リンクを希望される場合は、リンク先アドレスをお知らせください。)

【問い合わせ先】日本学術会議事務局企画課広報担当

(Tel:03-3403-1906、p227@scj.go.jp)

日本学術会議ホームページ更新情報

2006/2/14 講演会・シンポジウムを更新

(http://www.scj.go.jp/ja/info/kokai_shinpo/index.html)

2006/2/7 委員会一覧を更新

(<http://www.scj.go.jp/ja/info/iinkai/index.html>)

2006/1/31 会議予定を更新

(<http://www.scj.go.jp/ja/info/plan/index.html>)

=====

日本学術会議ニュースメールは、日本学術会議第19期会員、第20期会員・
連携会員、日本学術会議協力学術研究団体などに配信しています。転載は自由
ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をして
いただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

また、メールアドレスの変更等がありましたら、事務局 (p228@scj.go.jp)
まで御一報いただければ幸いです。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34